

# Windows8 アップグレードマニュアル

2016年10月21日

神戸大学 情報基盤センター

このマニュアルは九州大学情報統括本部より提供いただいたマニュアルをもとに作成いたしました。



[This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 2.1 Japan License.](https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/)

## 改訂履歴

[illegible]

# 目次

## STEP1 アップグレードの前に

アップグレードの前に	・・・	1ページ
------------	-----	------

## STEP2 インストールメディアの準備

インストールメディアの準備	・・・	3ページ
---------------	-----	------

## STEP3 アップグレード

1. 新規インストール	・・・	6ページ
2. 上書きインストール	・・・	12ページ

## STEP4 ライセンス認証

1. DNSサフィックスの追加	・・・	17ページ
2. ライセンス認証	・・・	20ページ

※ Windows はアップグレードライセンスのため、新規にWindows をインストールすることはできません。  
既にWindows またはMac のライセンスを取得しているコンピュータに対してのみの権利となります。

※ Windows 8 には、32bit版と 64bit版があります。どちらを選択すればよいかわからない場合は、現在  
お使いの Windows と同じ bit版をご利用ください。

ただし、次のようなご利用をお考えの場合は、64bit版をご利用ください。

- \* 4GB以上のRAM(メモリー)利用する。
- \* Client Hyper-Vなど64bit版Windowsの機能を利用する。
- \* 64bit版ソフトウェアを利用する。

## STEP1 アップグレードの前に

Windowsのアップグレードは、事前の確認作業を怠るとこれまで使用していたコンピュータのデータが消える可能性が高く、アップグレード自体も失敗する場合があります。また、アップグレード後のコンピュータの動作を完全に保証するものでもありません。

そのため、アップグレードを行う場合はそれらの点を十分に認識した上で、自己責任のもと行ってください。また、アップグレードを行う前には、必ず以下の点を確認してください。

- ① 各コンピュータメーカーやMicrosoft社のホームページでは、Windowsのアップグレードに関するガイドが掲載されています。特に、コンピュータメーカーが掲載しているガイドは、そのメーカーが販売しているコンピュータにおいてWindowsのアップグレードを行う場合の事前の確認事項や注意事項が詳細に記載されています。まずは、アップグレードしようとしているコンピュータのメーカーが掲載しているガイドを確認してください。

以下は主なメーカーのガイドページです。

### ○NEC

- ・Windows 8 へのアップグレード  
<http://121ware.com/win8-upgrade/>

### ○Panasonic

- ・Windows 8 サポート情報  
<http://askpc.panasonic.co.jp/win8/>

### ○TOSHIBA

- ・Windows 8 アップグレード情報  
[http://dynabook.com/assistpc/osup/windows8/index\\_j.htm](http://dynabook.com/assistpc/osup/windows8/index_j.htm)

### ○FUJITSU

- ・Windows 8 動作確認情報  
<http://azby.fmworld.net/support/win/8/>

② Microsoft社のホームページでもWindowsのアップグレードに関するガイドや、アップグレードを支援するためのツール等が掲載されています。①と併せて確認ください。

・Windows 8 ユーザーズガイド

<https://www.microsoft.com/ja-jp/windows/windows-8/guide/upgrade.aspx>

・Windows 8 のシステム要件

<http://windows.microsoft.com/ja-JP/windows-8/system-requirements>

・Windows Upgrade Advisor

該当するコンピュータでアップグレードするWindowsが実行できるかチェックを行う診断ツールです。コンピュータをスキャンして、ハードウェア、デバイス、インストールされているプログラムの問題点を検出し、アップグレード前に対処すべきことをレポートとして報告してくれます。レポートで報告された問題点を解決する方法をコンピュータメーカー等のホームページで確認してください。Windows Upgrade Advisor はMicrosoft社の以下のページからダウンロードできます。

・Windows 8 Upgrade Advisor

<http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows/buy>

③ コンピュータの中に保存しているデータのバックアップを外部のハードディスク等に保存してください。特に、重要なデータのバックアップは必ず保存してください。

④ コンピュータを購入時の状態に戻せるようにリカバリディスクを準備してください。リカバリディスクの作成方法は、コンピュータメーカーで異なりますので、コンピュータ同梱の付属マニュアルかコンピュータメーカーのホームページを参照してください。

## STEP2 インストールメディアの準備

ダウンロードシステムより取得するISOファイルは、1枚のメディア（CD、DVD等）の中身を丸ごと1つのファイルに記録したもので、そのままではアップグレードには利用できません。

アップグレードに利用するためには、DVD等のメディアに書き込むなどの作業が必要です。

### ・Windows XP , Windows Vista におけるDVD等への書き込み

DVD等への書き込みは、お使いのコンピュータにインストールされているライティングソフトやフリーウェアを利用して行ってください。

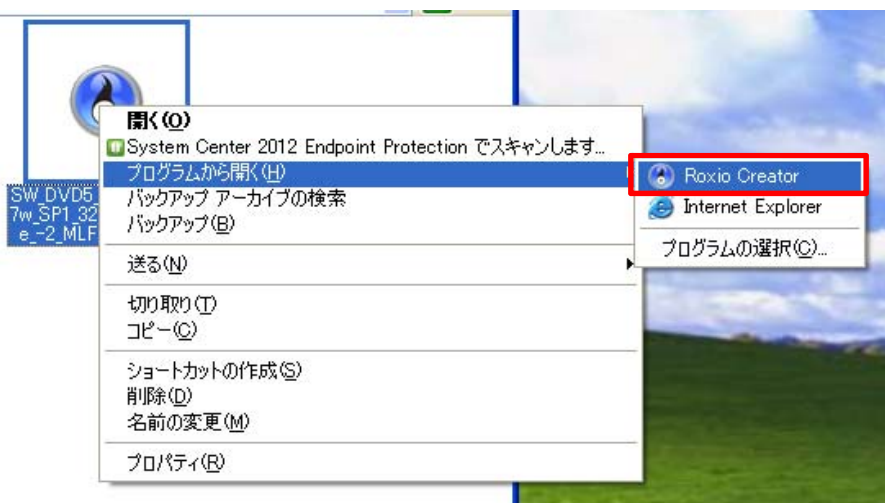
### ・Windows 7 以降におけるDVD等への書き込み

Windows 7 以降にはDVD等への書き込み機能が標準搭載されています。



#### 手順1

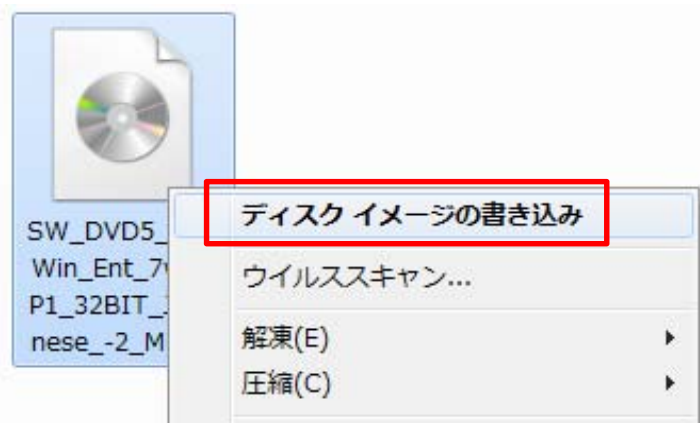
使用していない書き込み可能なDVD（DVD-ROM以外のDVD）を、書き込み可能なDVDドライブ（左図参考例）にセットします。



#### 手順2

ダウンロードしたISOファイルを右クリックし、「プログラムから開く」からDVDライティングソフトウェアを選択します。ライティングソフトの案内に沿ってDVDへの書き込みを行います。

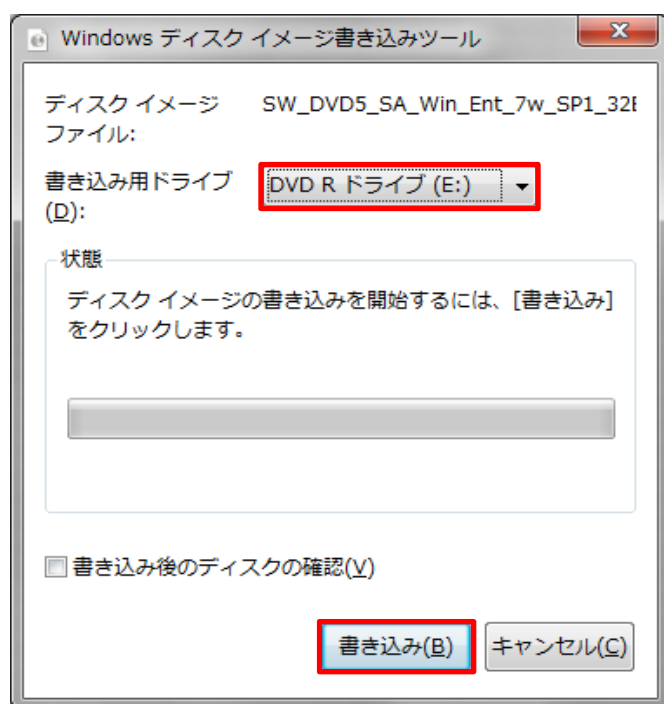
\* 左図は、Roxio Creator（有料）です。ライティングソフトがインストールされていない場合は、InfraRecorderやCDBurnerXPなどのフリーウェアでご対応ください。



### 手順3

Windows 7 以降ではISOファイルを右クリックし、「ディスク イメージの書き込み」を選択します。

\* 左図は Windows7 での画面です。



### 手順4

書き込み用ドライブを選択し、「書き込み」をクリックします。DVDへの書き込みが開始します。

## STEP3 アップグレード

Windows のアップグレードの方法には以下の2種類があります。

・新規インストール(カスタムインストール)

現在お使いのコンピュータの環境を削除し、新規に Windows をインストールします。これまでに作成したファイルや個人設定、アプリケーションなどは引き継がれません。

・上書きインストール(アップグレード)

現在お使いのコンピュータの環境を新しい Windows に置き換えます。これまでに作成したファイルや個人設定、アプリケーションなどはそのまま引き継がれます。

どちらの方法でアップグレードできるかは、現在お使いの Windows とアップグレードする Windows のバージョン等によって異なります。必ず下記の対応表をチェックしてから、アップグレードの方法を選択してください。

※ Windowsの言語を変更する場合(例えば日本語版から英語版にアップグレード)、Windowsのbitを変更する場合(例えば32bitから64bitにアップグレード)は、上書きインストールはできません。新規インストールのみ可能です。

### Windowsアップグレード対応表

(パッケージ版、ボリュームライセンス版からアップグレードする場合の対応表)

			アップグレード先
			Windows 8 Enterprise
現在 使用 している Windows	Windows XP	Home Edition	△
		Professional	△
	Windows Vista	Home Basic	△
		Home Premium	△
		Business	△
		Ultimate	△
		Enterprise	△
	Windows 7	Home Premium	△
		Professional	△
		Ultimate	△
		Enterprise	●
	Windows 8	Core Edition	△
		Pro	●
		Enterprise	-

記号の意味

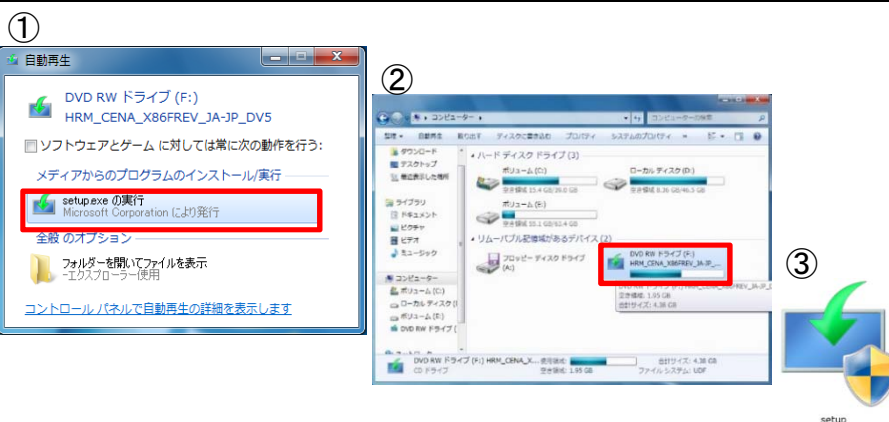
●: 上書きインストール(アップグレード)又は新規インストール(カスタムインストール)から選択可能。

△: 新規インストール(カスタムインストール)のみ選択可能。

注意) 上記表は、Microsoft社Webページに掲載されている資料を基に、本学での検証結果を加味して作成しています。



# STEP3-1 新規インストール

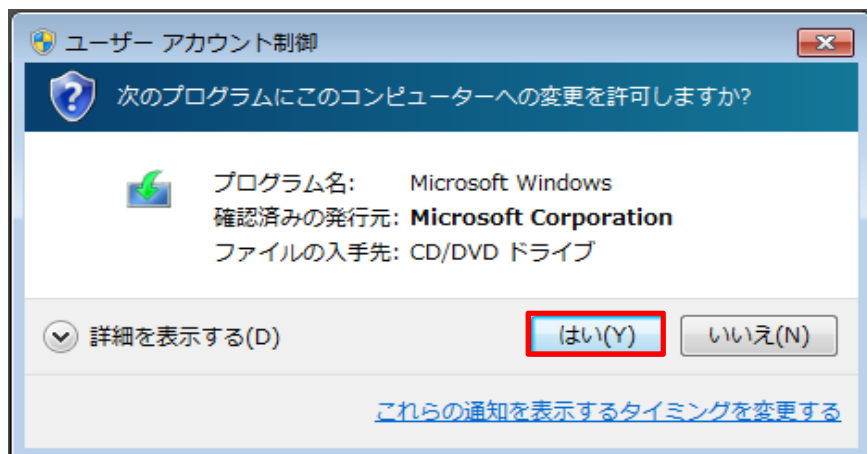


手順1  
作成したDVDをコンピュータにセットします。

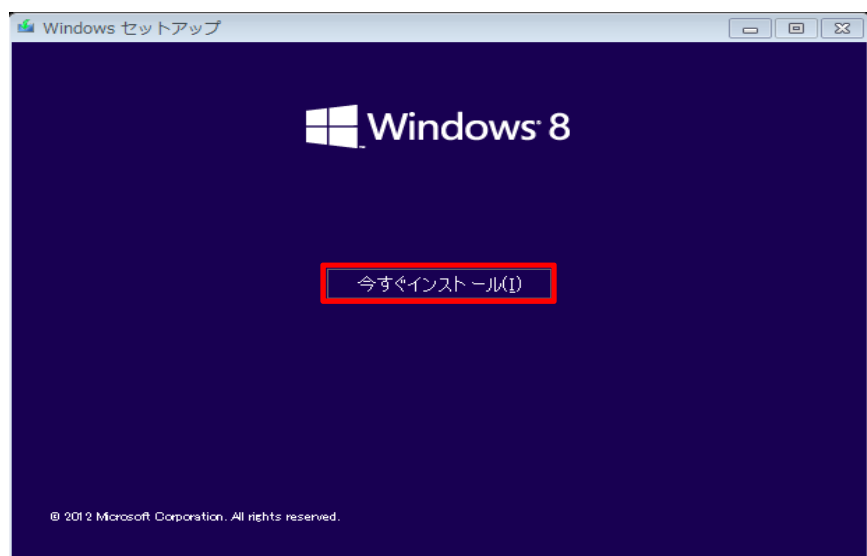
① 「自動再生」画面が表示される場合、「setup.exeの実行」をクリックします。

② ①以外の場合、DVDをダブルクリックします。

③ DVDのフォルダを開いた場合、「setup」をダブルクリックします。



手順2  
「ユーザーアカウント制御」が表示されますので、「はい」をクリックします。

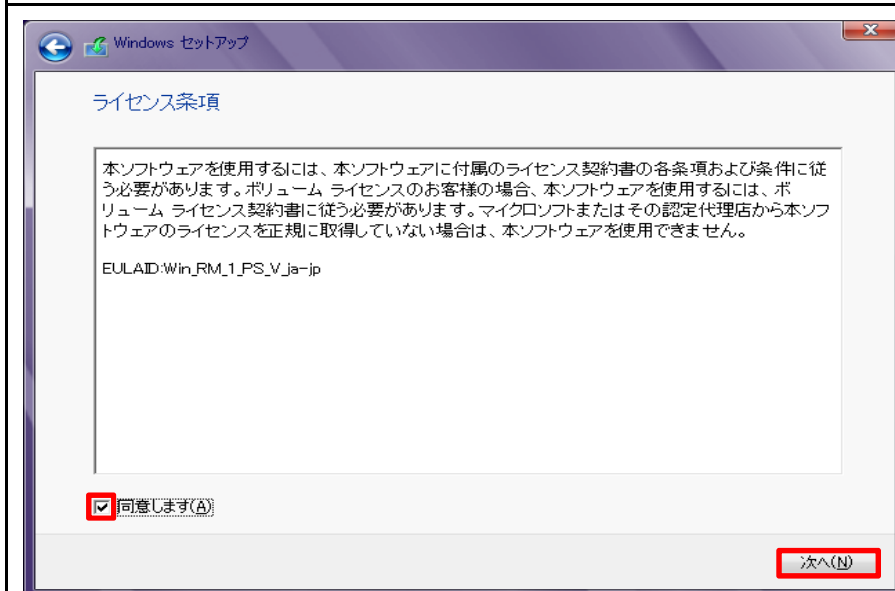


手順3  
「今すぐインストール」をクリックします。

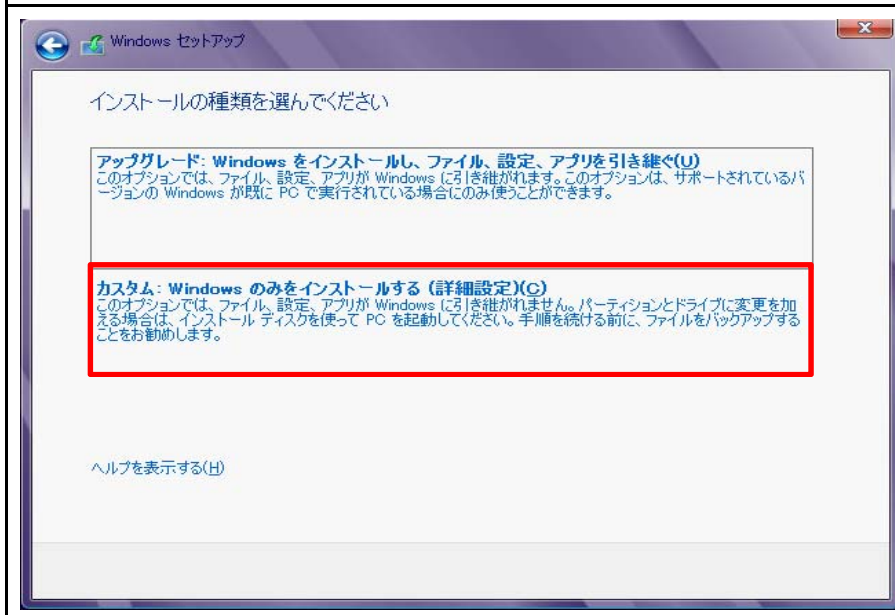
次の画面が表示されるまで、2～3分かかります。



手順4  
「インストールしない」をクリックします。



手順5  
「同意します」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

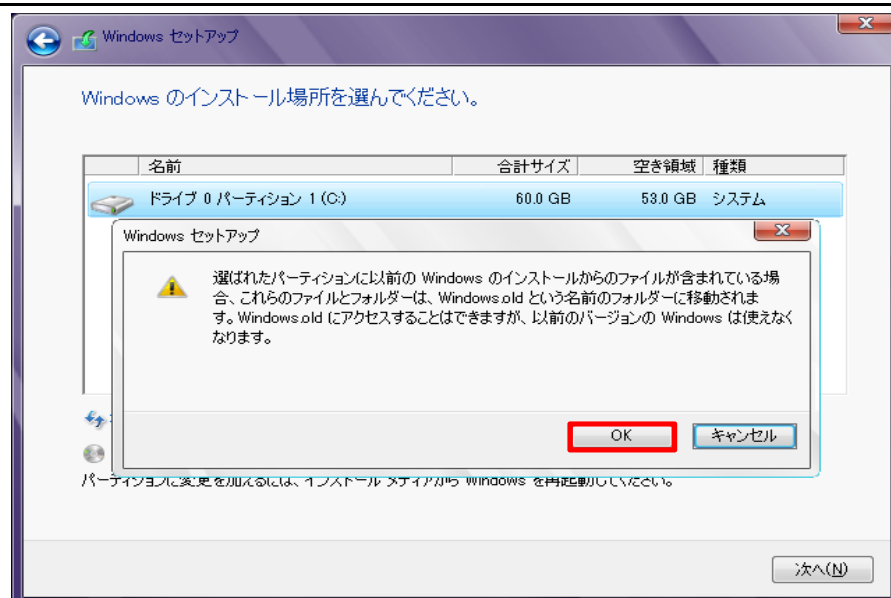


手順6  
「カスタム: Windows のみをインストールする」をクリックします。



手順7  
「次へ」をクリックします。

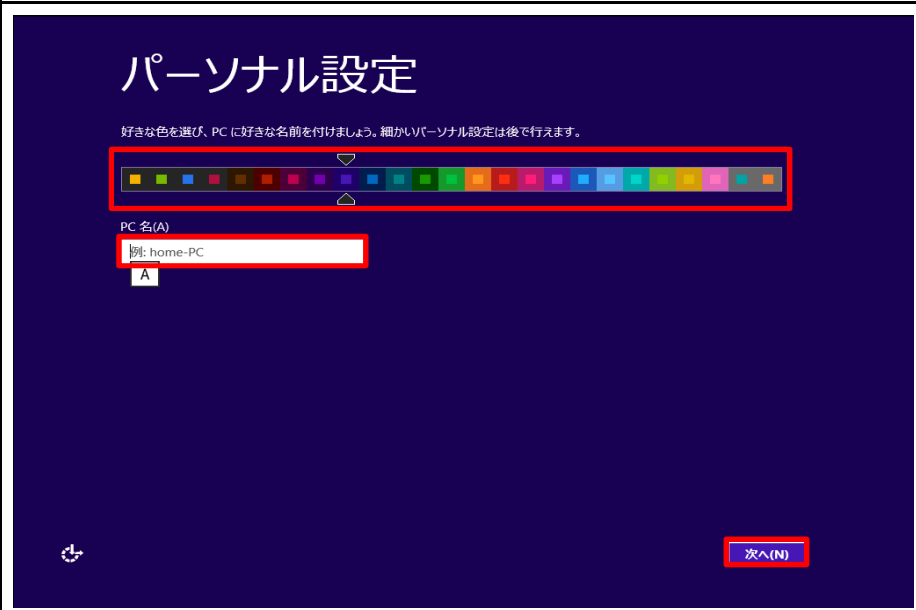

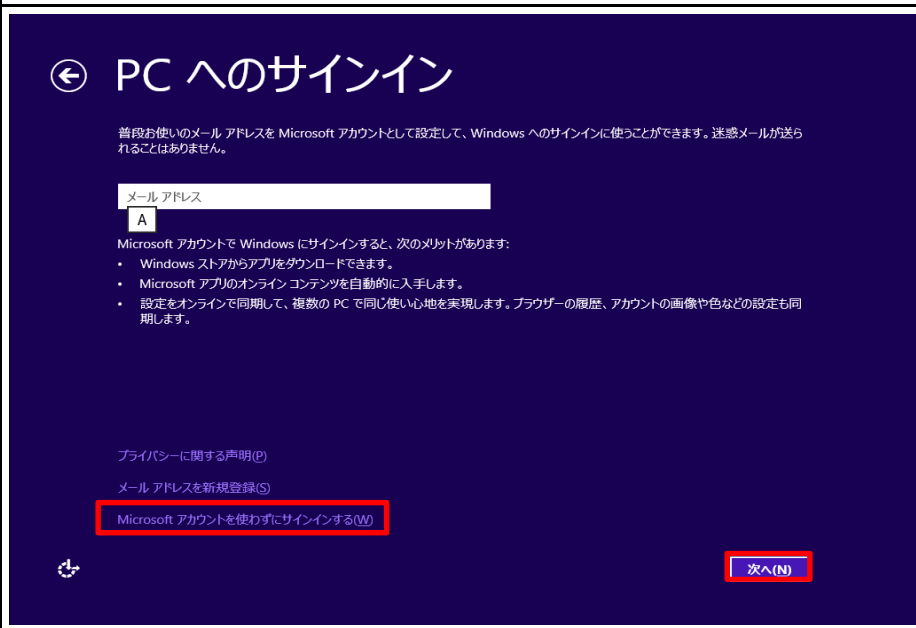
※ ドライブが複数ある場合は、ライセンス上、今まで利用していたWindows がインストールされているドライブを選択します。

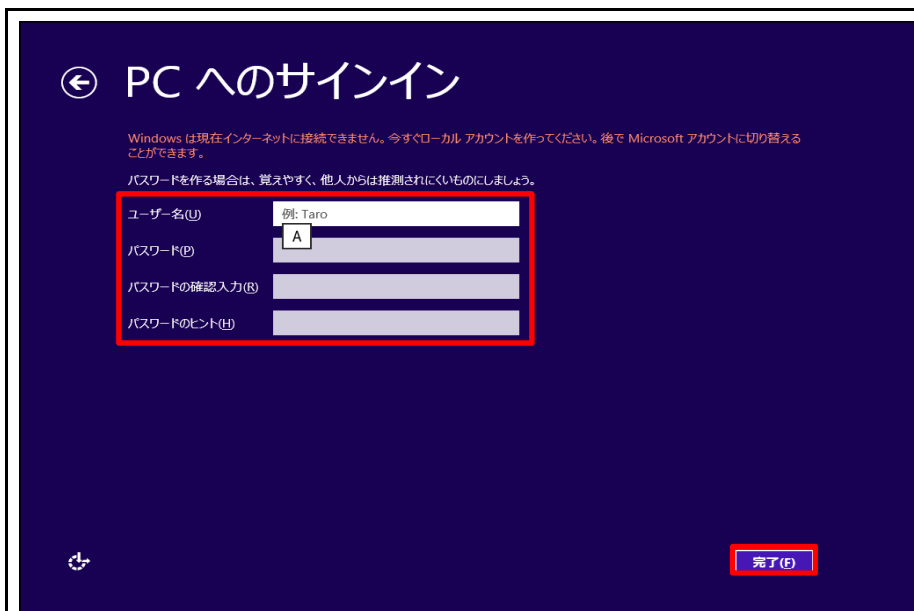


手順8  
「OK」をクリックします。

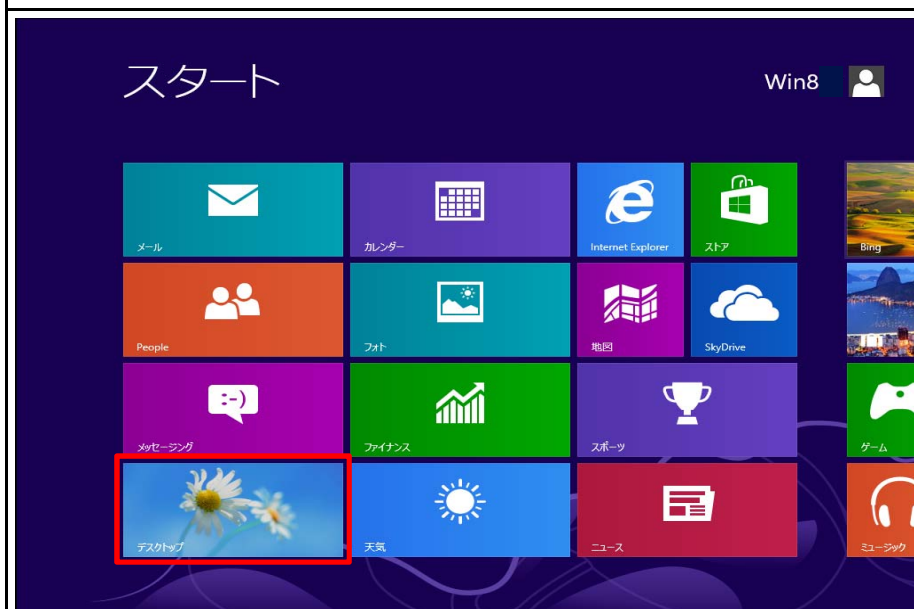


手順9  
新規インストールが開始します。インストール中は数回再起動されます。

	<p><b>手順10</b> 好きな色を選択, PC名を入力し, 「次へ」をクリックします。</p>
	<p><b>手順11</b> 「簡単設定を使う」をクリックします。</p> <p>※ご自身で設定される場合は, 「自分で設定する」をクリックしてください。</p>
	<p><b>手順12</b> Microsoftアカウントを登録し, 「次へ」をクリックします。</p> <p>※ 特に事務用コンピュータにおいては, Microsoftアカウントを使わないことを推奨します。</p> <p>Microsoftアカウントでサインインすると, SkyDrive等のウェブサービスに自動でログオンできるようになりますが, 設定を誤ると情報漏えいの原因となります。</p>



手順13  
ローカルアカウント(ユーザー名、パスワード等)を登録し、「完了」をクリックします。



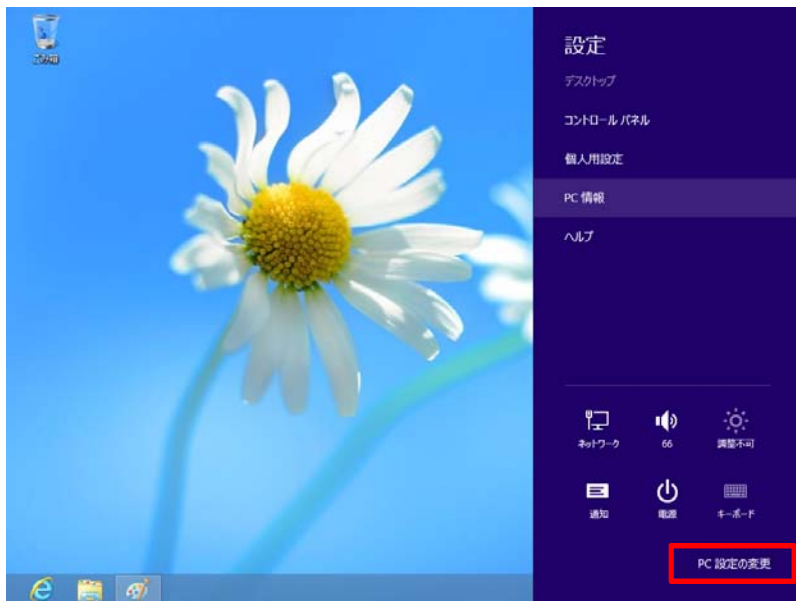
手順14  
これで新規インストールは完了です。



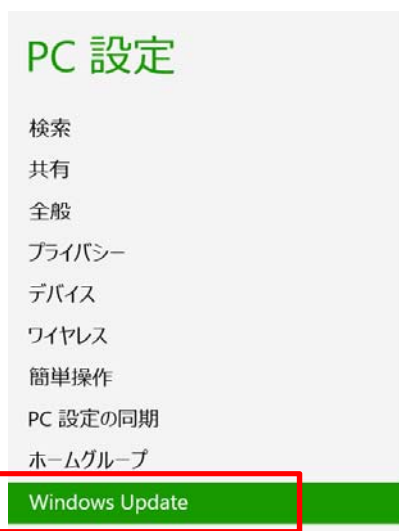
手順15  
インストールした Windows を最新の状態に保つため、Windows Updateを実行します。

カーソルを画面の右上隅か右下隅に合わせて「チャームバー」を表示し、「設定」をクリックします。

※ チャームバーとは Windows 8 から導入された、各種基本操作ができる縦長のメニューバーのことです。



手順16  
「PC設定の変更」をクリックします。



Windows Update  
更新プログラムが自動インストールされるように設定されています  
インストールがスケジュールされている重要な更新プログラムはありません。  
最後にチェックされたのは今日です。今後も新しい更新プログラムを毎日チェックします。  
**更新プログラムを今すぐチェックする**

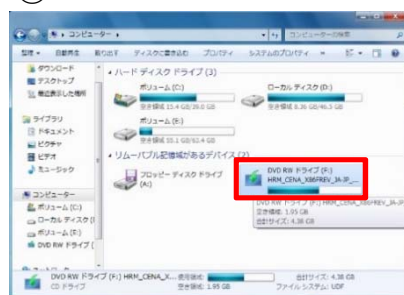
手順17  
PC設定で「Windows Update」を選択し、「更新プログラムを今すぐチェックする」をクリックし、Windows Update を実行します。

## STEP3-2 上書きインストール

①



②



③



手順1

作成したDVDをコンピュータにセットします。

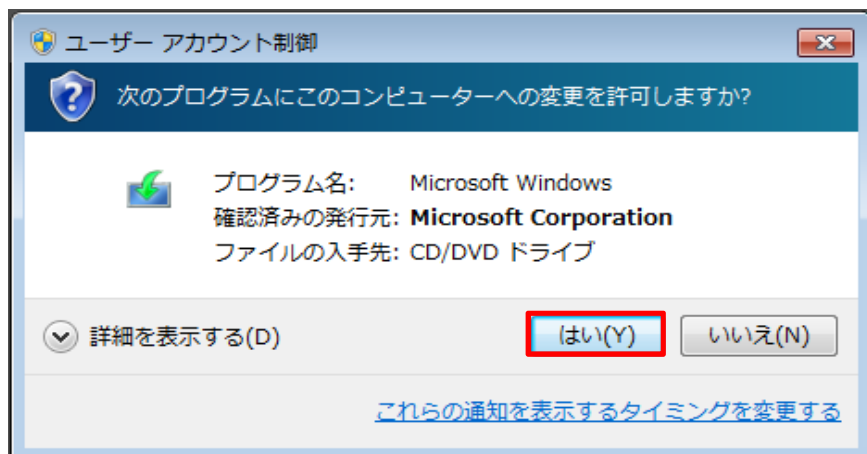
① 「自動再生」画面が表示される場合、「setup.exeの実行」をクリックします。

② ①以外の場合、DVDをダブルクリックします。

③ DVDのフォルダを開いた場合、「setup」をダブルクリックします。

手順2

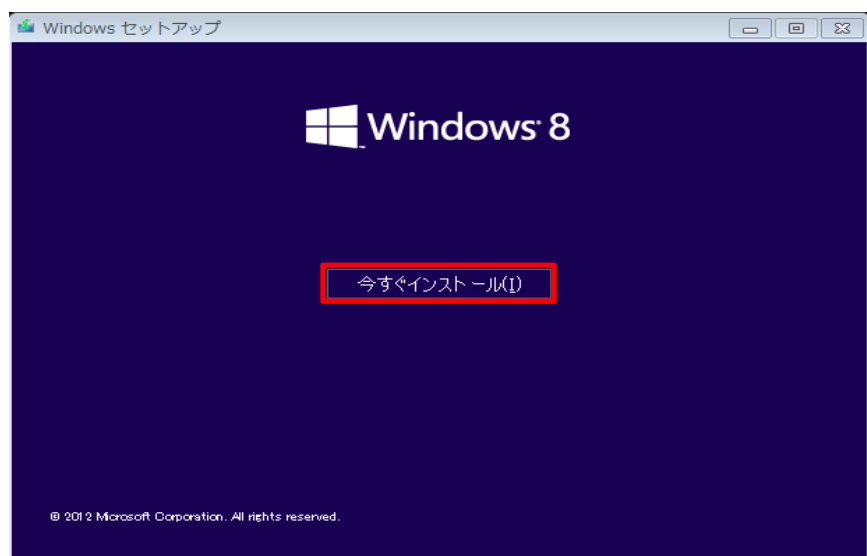
「ユーザーアカウント制御」が表示されますので、「はい」をクリックします。



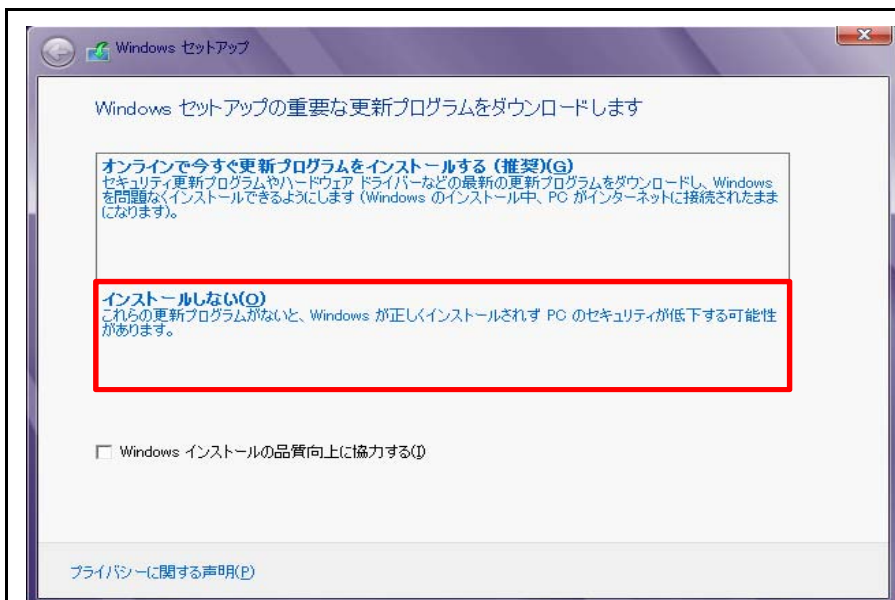
手順3

「今すぐインストール」をクリックします。

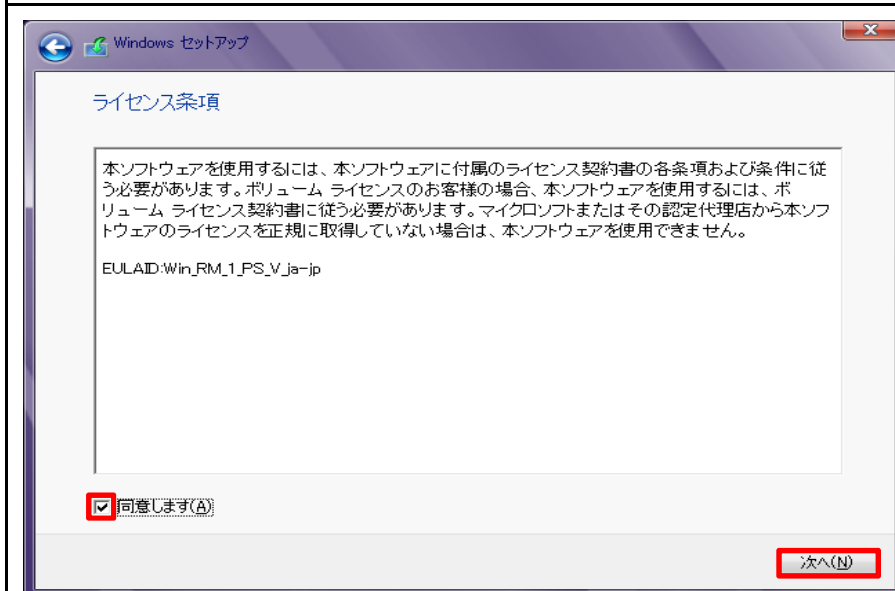
次の画面が表示されるまで、2～3分かかります。



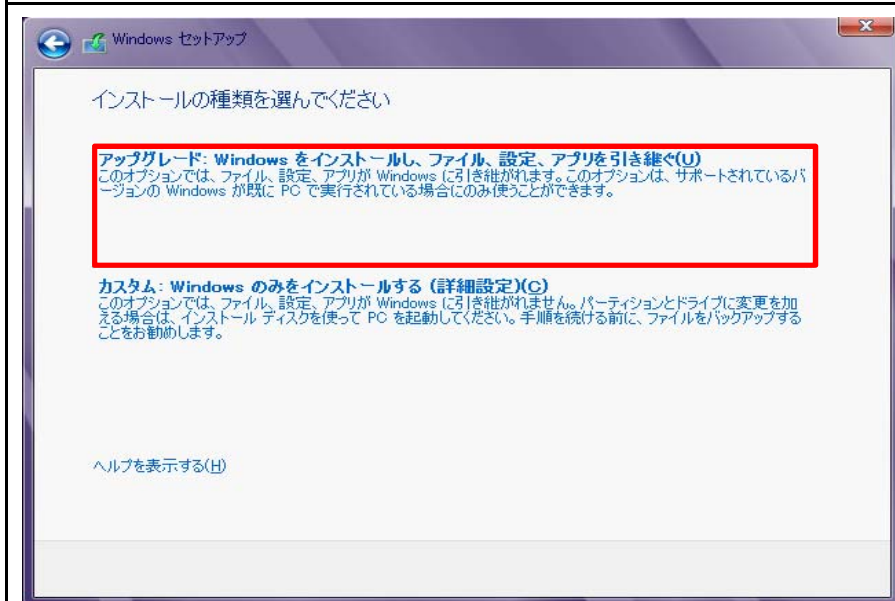




手順4  
「インストールしない」をクリックします。


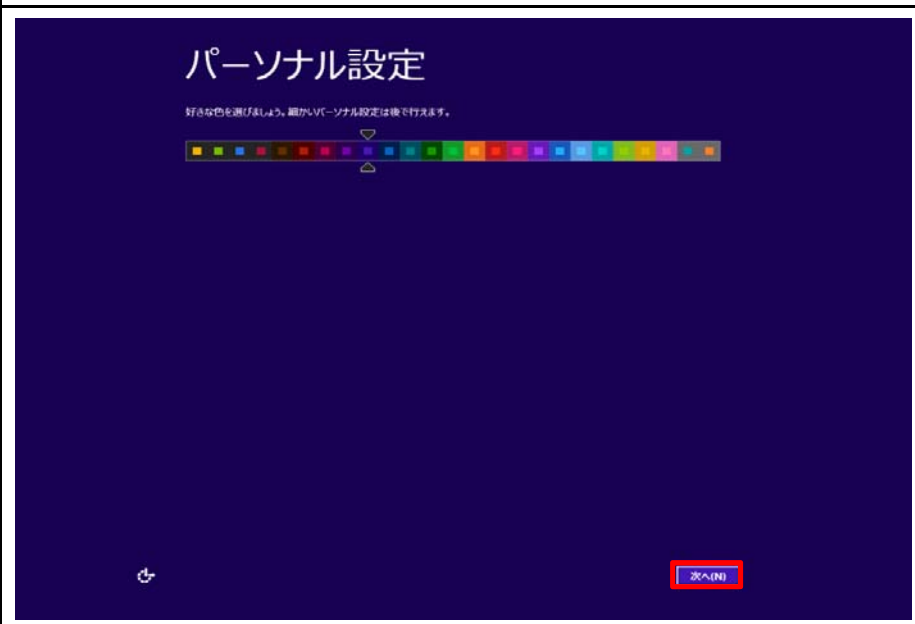



手順5  
「同意します」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



手順6  
「アップグレード: Windows をインストールし、ファイル、設定、アプリを引き継ぐ」をクリックします。



	<p><b>手順7</b> アップグレードが開始します。アップグレード中は数回再起動されます。</p>
	<p><b>手順8</b> 好きな色を選択し、「次へ」をクリックします。</p>
	<p><b>手順9</b> 「簡単設定を使う」をクリックします。</p> <p>※ご自身で設定される場合は、「自分で設定する」をクリックしてください。</p>



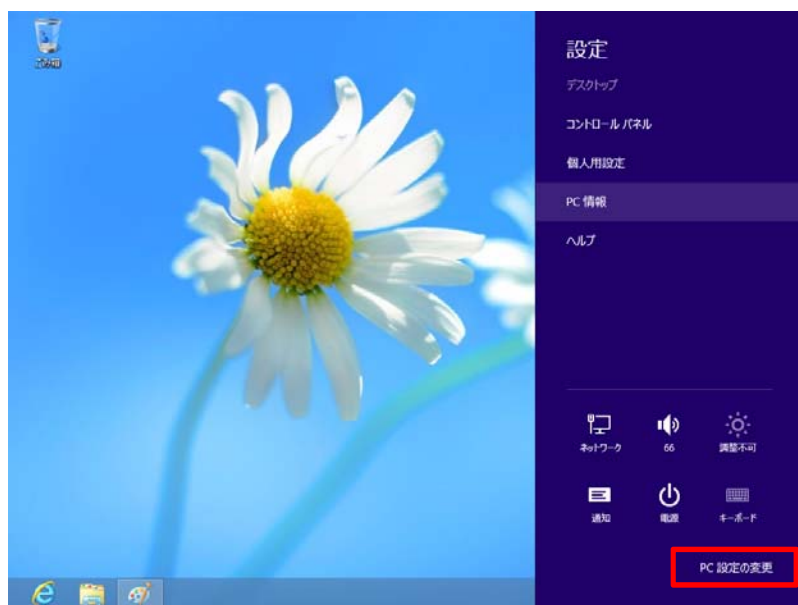
手順10  
これでアップグレードは完了です。




手順11  
インストールした Windows を最新の状態に保つため、Windows Updateを実行します。

カーソルを画面の右上隅か右下隅に合わせて「チャームバー」を表示し、「設定」をクリックします。

※ チャームバーとは Windows 8 から導入された、各種基本操作ができる縦長のメニューバーのことです。



手順12  
「PC設定の変更」をクリックします。

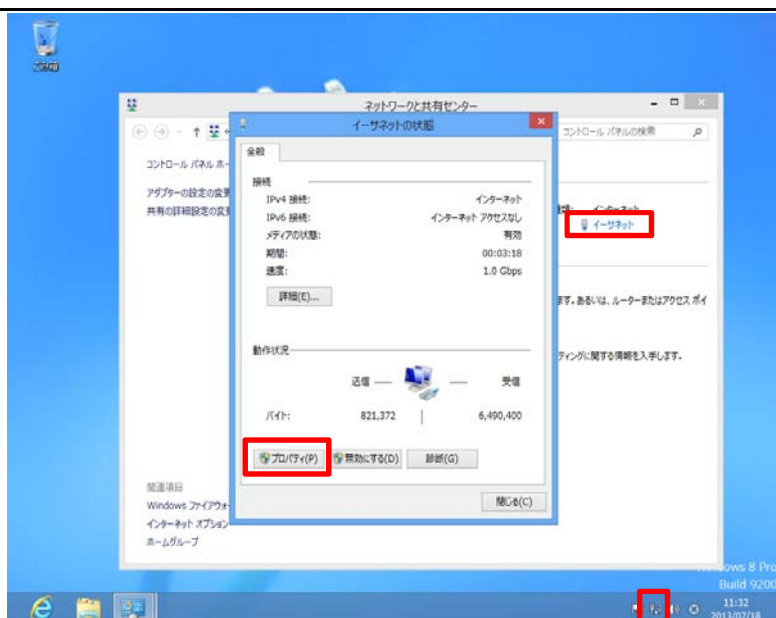
 <p>PC 設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>検索</li> <li>共有</li> <li>全般</li> <li>プライバシー</li> <li>デバイス</li> <li>ワイヤレス</li> <li>簡単操作</li> <li>PC 設定の同期</li> <li>ホームグループ</li> <li><b>Windows Update</b></li> </ul> <p>Windows Update</p> <p>更新プログラムが自動インストールされるように設定されています</p> <p>インストールがスケジュールされている重要な更新プログラムはありません。最後にチェックされたのは今日です。今後新しい更新プログラムを毎日チェックします。</p> <p><b>更新プログラムを今すぐチェックする</b></p>	<p>手順13</p> <p>PC設定で「Windows Update」を選択し、「更新プログラムを今すぐチェックする」をクリックし、Windows Update を実行します。</p>
--	---

## STEP4-1 DNSサフィックスの追加

Windowsの利用にはライセンス認証が必要です。ライセンス認証は、インストール後30日以内に行う必要があります。期限を過ぎると、インストールしたWindowsが利用できなくなります。

また、その後の定期的なライセンス認証は、コンピュータを学内ネットワークに接続していれば、7日毎に自動的に実行されます。学内ネットワークに接続していない等の理由で、最後にライセンス認証を実行した日から180日経過した場合、ライセンス認証の実行を促すメッセージが表示され、30日後にはWindowsが利用できなくなりますのでご注意ください。

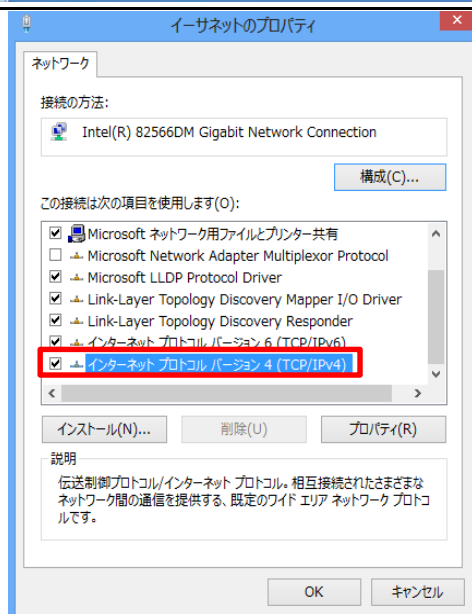
まずは、ライセンス認証するための準備として、DNSサフィックス(kobe-u.ac.jp)の設定をします。既に設定している場合は、DNSサフィックスを追加する必要はありません。



### 手順1

タスクバーにある「ネットワーク インターネットアクセス」アイコンを右クリックし、「ネットワークと共有センターを開く」をクリックします。

次に、「イーサネット」をクリックし、「プロパティ」をクリックします。

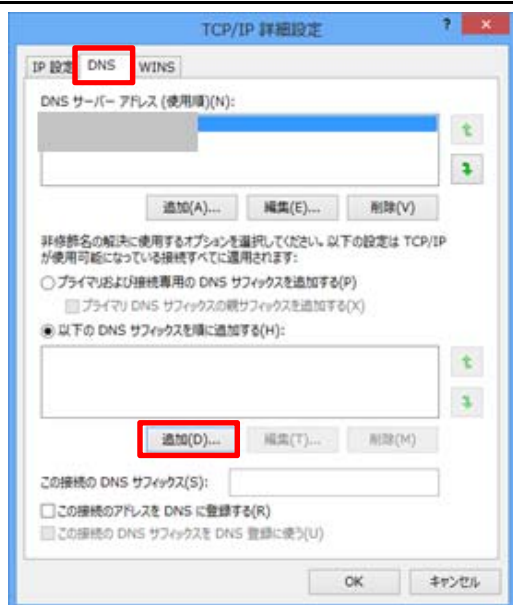


### 手順2

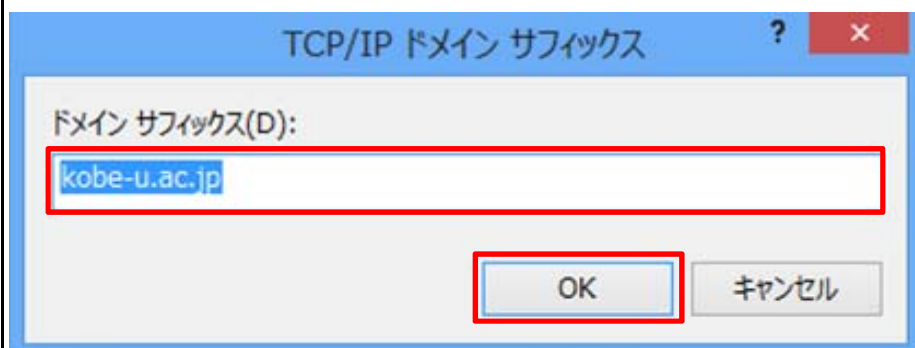
「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」をダブルクリックします。



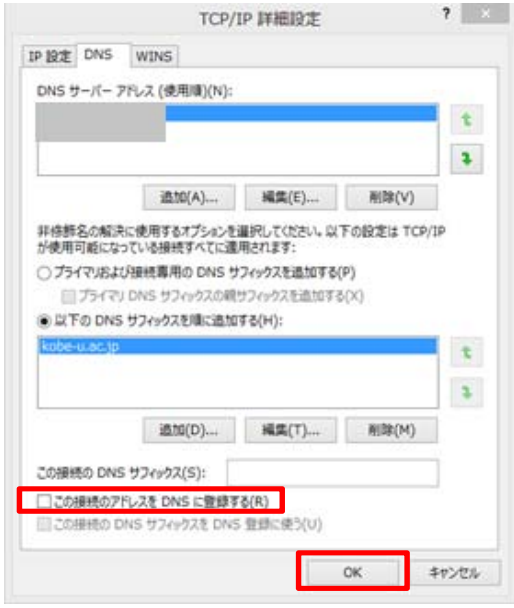

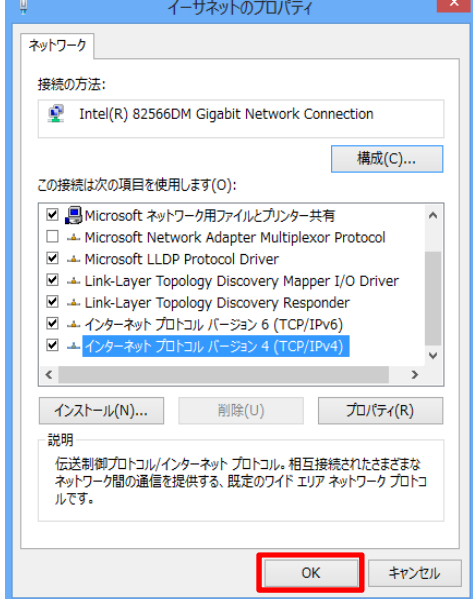
手順3  
「詳細設定」をクリックします。



手順4  
「DNS」タブをクリックします。  
  
「以下のDNSサフィックスを順に追加する」を選択し、その下にある「追加」をクリックします。


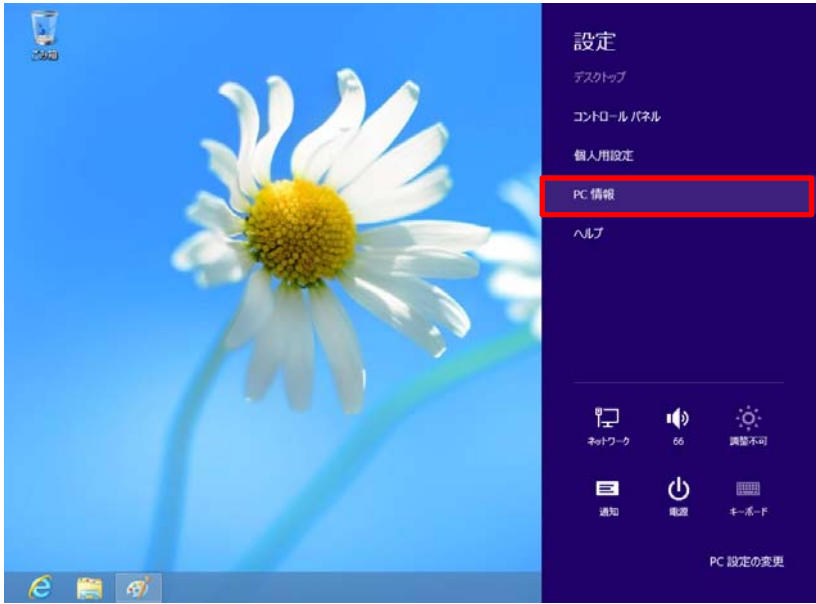


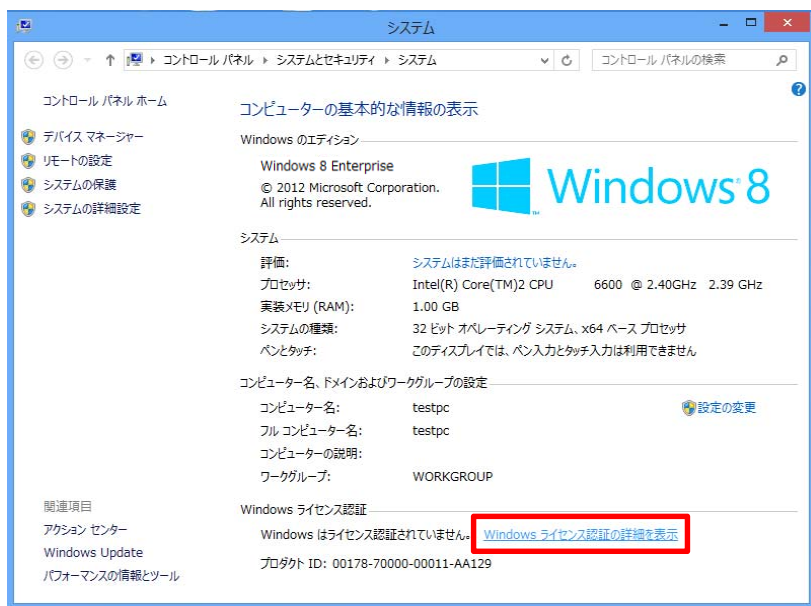
手順5  
ドメインサフィックス欄に「kobe-u.ac.jp」と入力し、「OK」をクリックします

	<p><b>手順6</b> DNSサフィックスに「kobe-u.ac.jp」が追加されていることを確認します。</p> <p>また、「この接続のアドレスをDNSに登録する」にチェックが入っていないことを確認します。</p> <p>「OK」をクリックし、「TCP/IP 詳細設定」画面を閉じます。</p>
	<p><b>手順7</b> 「OK」をクリックし、「インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」画面を閉じます。</p>
	<p><b>手順8</b> 「OK」をクリックし、ネットワーク接続のプロパティ画面を閉じます。</p> <p>これで設定は終了です。</p>

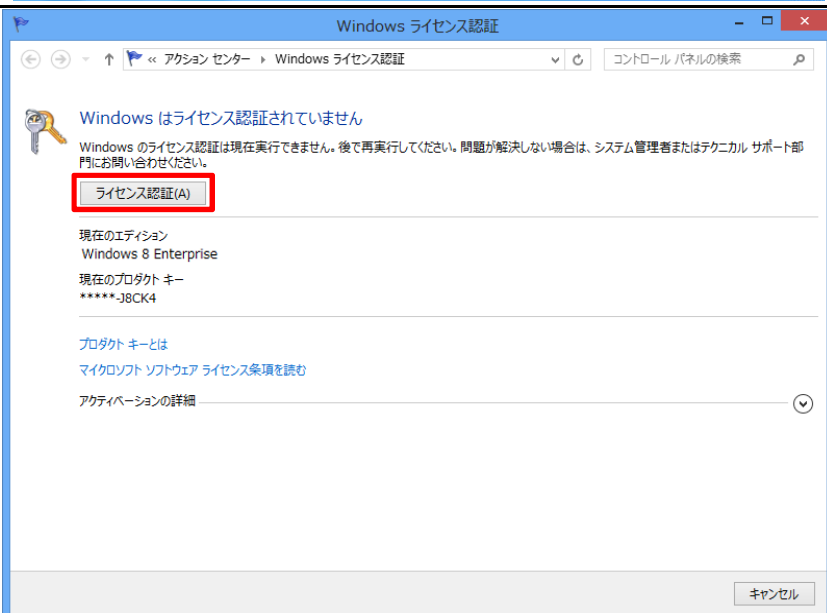


## STEP4-2 ライセンス認証

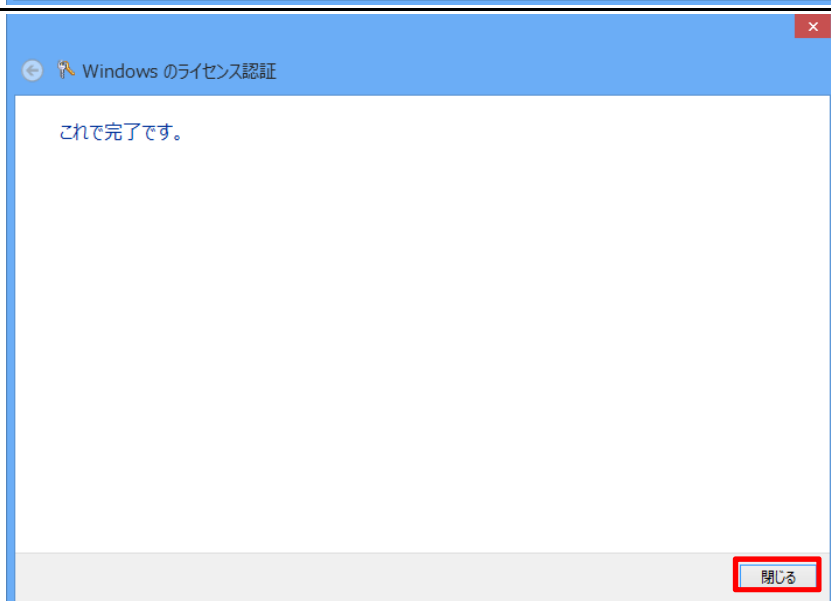
	<p>手順1 ライセンス認証を行います。</p> <p>カーソルを画面の右上隅か右下隅に合わせて「チャームバー」を表示し、「設定」をクリックします。</p> <p>※ チャームバーとは Windows 8 から導入された、各種基本操作ができる縦長のメニューバーのことです。</p>
	<p>手順2 「PC情報」をクリックします。</p>



手順3  
「Windows ライセンス認証の詳細を表示」をクリックします。



手順4  
「ライセンス認証」をクリックします。



手順5  
「閉じる」をクリックします。  
これで、ライセンス認証は終了です。